

平成30年3月16日

豊水小学校保護者 様

玉名市立豊水小学校
校長 作見 千絵

平成29年度豊水小学校・後期の学校評価について

早春の候、豊水小学校保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。2月にお願いました後期の学校評価アンケート大変お世話になりました。全児童、全保護者、学校評議員、全職員のアンケート結果を集計して、分析し学校評価といたしましたのでお知らせします。

【課題と改善点】

○児童の評価から見えてきたこと

児童66名の評価では、22項目全てが平均値3.5以上の結果となっています(昨年度後期末は3.4)。全体としては、とても良い評価となっています。しかし、中でも低い結果や下がってしまった項目については、反省し対策を講じる必要を感じております。更には、低い評価をしている児童への関わりもしっかりと取り組まなければならないと考えています。

【自分は大切な存在だと思う……………平均3.5】

【進んで読書をし、本の選び方も上手になった……………平均3.5】

「自分は大切な存在だと思う」に関して、特に低い自己評価をしている児童に関して、担任を中心に実態を把握し、対策を講じていきます。これは学校だけでなく、各家庭や地域の課題として取り組む必要を感じます。生活面や学習面、運動面などで、何かに挑戦し、やり遂げることで自信を付け、そのことを保護者や学校、地域でしっかり認め褒めていきたいと考えています。

「進んで読書をし、本の選び方も上手になった」に関しては、読書の量と質の向上に取り組んでいくことで解決を図ります。そのためにも、来年度の校内研究を「国語科」に絞って取り組んでいく予定です。

○保護者の評価から見えてきたこと

アンケート項目20項目中18項目が平均3.0を超えており、よい評価となっています。しかし、特に平均が3を下回った2項目「言葉遣いの指導」「家庭でのしつけ」については、家庭教育に関わる内容でもあるのでPTA活動や研修を通して家庭の教育力を高めること、また学校においてもその啓発等に取り組むことが必要と思います。この2項目は、ここ数年同じような結果となっていますので、「言葉遣いとしつけ」に関して学校、家庭、地域でしっかり取り組んでいかなければなりません。

○教職員の評価から見えてきたこと

教職員の自己評価においては、全項目の後期平均値が3.06(前期平均は2.97)でした。前期より向上した印象であり、全体的には、前期の学校評価をもとに後期の充実に取り組むことができたため、充実した後期になったものと考えます。

しかし、その中においても以下の項目については、低い評価となっており、今後も課題として特に取り組んでいかなければと考えています。

○「玉名学・礼節」等を充実させ、気持ちのよいあいさつや正しい言葉遣い、花の世話、無音掃除の指導はできたか。……………自己評価 2.70

○家庭学習の時間[学年数×10分+10分]を徹底し、家庭学習の習慣化を図る指導はできたか。……………自己評価 2.78

○健康診断の事後指導により、治療を完了させることができたか。……………自己評価 2.78

○めあて学習を通じて、運動の特性にふれる楽しさを味わえる体育授業を展開することができたか。……………自己評価 2.78

- 学習規律の定着のための指導はできたか。……………自己評価 2.80
- 毎時の授業展開に徹底指導と能動型学習の場面を明確に位置づけ、目標の実現に向け言語活動の充実を目指した授業づくりができたか。……………自己評価 2.80

○学校評議員の評価から見えてきたこと

評議員3名ともに「4段階評価の 4」と評価頂いた項目が、次の6項目でした。
 「学校は、自分や他人の立場や意見を大切にし、話し合いがよくなるようにしている」
 「学校は、花や一寸空豆等の体験活動を積極的に取り入れ、豊かな心を育てている」
 「学校は、環境設営や美化活動、整頓に心がけ、美しい環境にしている」
 「学校は、授業参観や通信、便り、ホームページなどで学校の様子を伝えている」
 「学校は、子どもたちのために、保護者、地域、幼保中と連携・協力している」
 20項目の平均は、3.3以上であり、大きな課題となるものは見られませんが、以下のようなご意見やご質問を頂きました。

- 自己肯定感が低い児童については、是非実態を把握・分析して、しっかり褒める等の策を講じる必要があるのではないか。また、高学年と低学年を分けて集計したり、分析したりすれば、実態が更に詳しく見られるのではないか。一人の児童を6年間追跡してみると更に実態が詳しく分析できると思う。
- 学校内や教室の掲示物がきれいに整備されている。よい環境のもとで穏やかな子どもたちが育っていると思う。花や野菜を育て、自分で育てる喜びを感じていると思う。
- 先生方の働き方改革の取組は、どのようになっているか。
- 部活動が、廃止になるが、どのような動きになっているのか。
- 先生方の人権教育の研修は、どのようになっているのか。

【平成30年度の取組について】

後期の学校評価におきまして、課題として見えてきたことの中から、次の課題について重点的な取組を行いたいと思います。

- ①自己肯定感の育成のための「認め、ほめ、励まし、伸ばす教育」を推進する。
- ②国語科教育の研究に取り組み、熊本型教育の充実、読書活動の推進等に取り組む。
- ③保護者と共に家庭学習が充実するよう取り組む。
- ④保護者や地域と共に「言葉遣いの指導やしつけ」に取り組む。
- ⑤伝統の花や野菜の栽培等の体験活動を積極的に行い、豊かな心の育成に努める。
- ⑥学校便りやホームページ等で、学校の様子等を広く公表し、開かれた地域と共にある学校づくりを推進する。

平成29年度も残り僅かです。日々の学習活動を充実させ、総まとめを行い、来年度へ繋いでいきたいと思っております。皆様のご支援、ご助言等今後もよろしくお願いいたします。

- *全アンケート調査結果は、豊水小学校のホームページに掲載します。
- *アンケートは4段階評価ですので、2.5以上がよい評価と考えています。